

A-4

ベトナム語の所有標識 *của* と所有者の類別詞使用について¹

王丹 (京都大学大学院・博士後期課程)

dannawd012@gmail.com

【要旨】 ベトナム語の所有表現には、所有標識「*của*」を用いるものと用いないものが存在する。従来の研究では、「*của*」の使用条件は所有対象に依存すると主張されている。本稿では、ベトナム語母語話者を対象としたアンケート調査に基づき、所有者に類別詞が付くと「*của*」の介在が必要であるというように、「*của*」の使用条件が所有者にも関わることを明らかにした。また、語彙的緊密性のテストを行うことで、所有者に類別詞が付く複合構造はより句的であり、所有者に類別詞が付いていない複合構造はより複合語的であるという結果が得られた。この結果は形式的には複合語化のメカニズムによって、また意味的には通言語的な所有表現の普遍的な特徴によって説明ができると考えられる。類別詞を伴う所有者の名詞は指示性が高いため、所有対象と複合されにくく、所有対象との所有関係を反映するために所有標識の介在が必要であると主張する。

1. はじめに

ベトナム語の所有表現には、所有標識「*của*」の有無により、「所有対象+所有者」と「所有対象+*của*+所有者」という2通りの表現が考えられる。

(1) a. *nhà tôi* = b. *nhà của tôi*

家 私 家 の 私
“私の家”

(Bùi Đức Tịnh 1952: 136)

Bùi Đức Tịnh (1952: 136) では、「*của*」が介在する場合としない場合とで、意味的な区別はないように考えられている。しかし、Hoàng Dũng & Nguyễn Thị Ly Kha (2004: 28) では「*của*」の省略は任意的ではなく、一定の条件があると論じられている。例 (2) では所有対象に類別詞が付いていないため、「*của*」が省略できるが、例 (3) では所有対象に類別詞が付いているため、例 (3b) のように「*của*」が省略できないという²。

(2) a. *sách của tôi* b. *sách tôi* 本 の 私 本 私 “私の本” “私の本”

(Hoàng Dũng & Nguyễn Thị Ly Kha 2004: 28)

(3) a. *quyển sách của tôi* b. **quyển sách tôi* CL 本 の 私 CL 本 私 “私の本” “私の本”

(Hoàng Dũng & Nguyễn Thị Ly Kha 2004: 28)

このように、Hoàng Dũng & Nguyễn Thị Ly Kha (2004: 28) は「*của*」の使用条件が所有対象に依存すると主張しているが、所有者については言及されていない。しかし、所有者が一般名詞となる例 (4) では、例 (4b)、(4d) から分かるように、「*của*」が介在する場合、所有者に類別詞が付けられなければ句は不自然になる。

¹ 本稿の作成にあたって、ご指導くださった千田俊太郎先生、貴重なコメントをいただいた川畑祐貴氏、坂本遊野氏、葉晨傑氏に深く感謝を述べたい。また、調査に協力していただいたベトナム語母語話者の方々に感謝を申し上げたい。

² 本稿では、不自然を「*」で、やや不自然を「?」で表示する。また、本稿で使用した略号は次の通りである: CL = classifier.

(4)	類別詞	しっぽ	の	類別詞	犬	
a.	cái	đuôi			chó	“犬 (総称) のしっぽ”
b.	*cái	đuôi	của		chó	
c.	*cái	đuôi		con	chó	
d.	cái	đuôi	của	con	chó	“特定の犬のしっぽ”

以上から、ベトナム語で、所有標識「của」の使用条件には所有者が関わる事が予想される。本稿の目的は、所有者に類別詞が付く場合に「của」の介在が必要かどうかを明らかにし、必要であれば、その理由に対して説明を試みる。

2. 調査の結果と考察

本稿では春日 (2011: 241) によるベトナム語における所有の意味関係の分類、および Dixon (2010: 262-263) による通言語的な所有の意味関係の分類を踏まえ、「ownership」の意味関係を中心に例文を作成した。ベトナム語母語話者 12 名を対象に「学生の車」と「犬のケージ」の表現に対して 3 段階の容認度判断の調査を行った。その結果を、自然を 100%、やや不自然を 50%、不自然を 0% として平均し、図 1 と図 2 に示した。

(5)	「学生の車」	不自然	やや不自然	自然
a.	xe người học sinh 車 CL 学生	83%	8%	8%
b.	xe của người học sinh 車の CL 学生	17%	67%	17%
c.	chiếc xe người học sinh CL 車 CL 学生	92%	8%	0%
d.	chiếc xe của người học sinh CL 車の CL 学生	17%	25%	58%

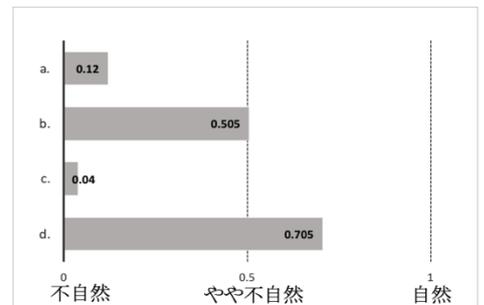


図 1

(6)	「犬のケージ」	不自然	やや不自然	自然
a.	chuồng con chó ケージ CL 犬	42%	42%	17%
b.	chuồng của con chó ケージの CL 犬	17%	25%	58%
c.	cái chuồng con chó CL ケージ CL 犬	75%	17%	8%
d.	cái chuồng của con chó CL ケージの CL 犬	8%	17%	75%

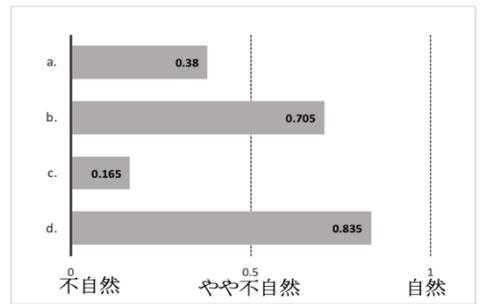


図 2

例 (5)、例 (6) では、「của」と所有者に対する類別詞を用いる b と d の方はより自然だと判断されている。これによって、所有者に類別詞が付いている場合、所有対象に類別詞が付くかどうかに関わらず、「của」がある方がより自然だといえる。

ベトナム語では、名詞の並置によって、複合名詞や所有表現を含む名詞の連体修飾などが表される。しかし、ベトナム語で名詞は類別詞を伴って出現するケースが多く、類別詞が並置された所有者および所有対象のなす複合表現の内部構造の緊密性に影響を与える可能性が非常に高い。その影響を調べるために、所有者に類別詞が付いている場合と付いていない場合の構造の緊密性をテストする必要がある。これについて、Haspelmath (2010: 190-195) と Bresnan and McHombo (1995:187-192) では有効なテストが提示されている。

Haspelmath (2010: 193-194) では、分離可能性 (separability) が句と複合語を区別する統語的なテストであると示されている。これによれば、句は二つの要素が他の要素によって常に分離可能であるのに対し、複合語は分離不可能である。例 (5)、(6) を踏まえ、所有対象のスロットにある名詞と所有者のスロットにある名詞との分離可能性のテストの結果を以下に示す。

分離可能性 (separability) テスト³

(7) 「学生的車」

- a. xe học sinh
車 学生
- b. *xe người học sinh
車 CL 学生
- c. xe của học sinh
車 の 学生
- d. ?xe của người học sinh
車 の CL 学生
- e. *chiếc xe học sinh
CL 車 学生
- f. *chiếc xe người học sinh
CL 車 CL 学生
- g. chiếc xe của học sinh
CL 車 の 学生
- h. chiếc xe của người học sinh
CL 車 の CL 学生

「学生の新しい車」

- A. *xe mới học sinh
車 新しい学生
- B. *xe mới người học sinh
車 新しいCL 学生
- C. ?xe mới của học sinh
車 新しい の 学生
- D. xe mới của người học sinh
車 新しい の CL 学生
- E. *chiếc xe mới học sinh
CL 車 新しい 学生
- F. *chiếc xe mới người học sinh
CL 車 新しい CL 学生
- G. ?chiếc xe mới của học sinh
CL 車 新しい の 学生
- H. chiếc xe mới của người học sinh
CL 車 新しい の CL 学生

(8) 「犬のケージ」

- a. chuồng chó
ケージ 犬
- b. ?chuồng con chó
ケージ CL 犬
- c. ?chuồng của chó
ケージ の 犬
- d. chuồng của con chó
ケージ の CL 犬
- e. cái chuồng chó
CL ケージ 犬
- f. *cái chuồng con chó
CL ケージ CL 犬
- g. ?cái chuồng của chó
CL ケージ の 犬
- h. cái chuồng của con chó
CL ケージ の CL 犬

- A. *chuồng mới chó
ケージ 新しい 犬
- B. *chuồng mới con chó
ケージ 新しいCL 犬
- C. ?chuồng mới của chó
ケージ 新しい の 犬
- D. chuồng mới của con chó
ケージ 新しい の CL 犬
- E. *cái chuồng mới chó
CL ケージ 新しい 犬
- F. *cái chuồng mới con chó
CL ケージ 新しい CL 犬
- G. *cái chuồng mới của chó
CL ケージ 新しい の 犬
- H. cái chuồng mới của con chó
CL ケージ 新しい の CL 犬

³ 例 (7) と (8) において、a-h の容認度は、12 名のベトナム語母語話者による調査の結果に基づき、不自然、やや不自然と自然の中で半数以上を占めるものを最終の容認度として判断したものであるが、A-H の方は 1 名のベトナム語母語話者によって判断してもらったものである。

分離可能性のテストでは、分離する前にすでに不自然だと判断されている例 (7b)、(7e)、(7f)、(8f) が考察対象外となる。所有者のスロットにある名詞に類別詞が付いていない例 (7A)、(7C)、(7G)、(8A)、(8C)、(8E)、(8G) は所有者のスロットと所有対象のスロットの間に形容詞の挿入が許されないため、より複合語的である可能性が高いと言える。一方、所有者のスロットにある名詞に類別詞が付いている例 (7D)、(7H)、(8D)、(8H) は所有者のスロットと所有対象のスロットの間に、形容詞の挿入が許されるため、より句的である可能性が高いと言える。

ベトナム語に適用できるもう一つの語彙的緊密性のテストは Haspelmath (2010: 190-195) による等位構造省略 (coordination ellipsis) である。これは、Bresnan and McHombo (1995: 187-192) による「gapping」と類似するテストである。このテストでは、等位構造にある二つの同一要素の一つが省略できる場合は句、省略できない場合は複合語であるという。

等位構造省略 (coordination ellipsis/gapping) テスト⁴

(9) 「私は学生の車が好きではなく、先生のが好きだ。」

- a. *Tôi không thích xe học sinh, tôi thích __ thầy giáo.
私 否定 好む 車 学生 私 好む 先生
- b. *Tôi không thích xe người học sinh, tôi thích __ người thầy giáo.
私 否定 好む 車 CL 学生 私 好む CL 先生
- c. *Tôi không thích xe của học sinh, tôi thích __ của thầy giáo.
私 否定 好む 車 の 学生 私 好む の 先生
- d. *Tôi không thích xe của người học sinh, tôi thích __ của người thầy giáo.
私 否定 好む 車 の CL 学生 私 好む の CL 先生
- e. *Tôi không thích chiếc xe học sinh, tôi thích chiếc __ thầy giáo.
私 否定 好む CL 車 学生 私 好む CL 先生
- f. *Tôi không thích chiếc xe người học sinh, tôi thích chiếc __ người thầy giáo.
私 否定 好む CL 車 CL 学生 私 好む CL CL 先生
- g. ?Tôi không thích chiếc xe của học sinh, tôi thích chiếc __ của thầy giáo.
私 否定 好む CL 車 の 学生 私 好む CL の 先生
- h. Tôi không thích chiếc xe của người học sinh, tôi thích chiếc __ của người thầy giáo.
私 否定 好む CL 車 の CL 学生 私 好む CL の CL 先生

(10) 「私は犬のケージを買いたくなく、猫のを買いたい。」

- a. *Tôi không muốn mua chuồng chó, tôi muốn mua __ mèo.
私 否定 ~たい 買う ケージ 犬 私 ~たい 買う 猫
- b. *Tôi không muốn mua chuồng con chó, tôi muốn mua __ con mèo.
私 否定 ~たい 買う ケージ CL 犬 私 ~たい 買う CL 猫
- c. *Tôi không muốn mua chuồng của chó, tôi muốn mua __ của mèo.
私 否定 ~たい 買う ケージ の 犬 私 ~たい 買う の 猫
- d. ?Tôi không muốn mua chuồng của con chó, tôi muốn mua __ của con mèo.
私 否定 ~たい 買う ケージ の CL 犬 私 ~たい 買う の CL 猫

⁴ 例 (9)、(10) の容認度判断は3名のベトナム語母語話者によるものである。g と h は自然とやや不自然の間で揺れが見られるため、調査結果を以下に示す。母語話者 A: 例 (9g): やや不自然; 例 (9h): 自然; 例 (10g): やや不自然; 例 (10h): やや不自然。母語話者 B: 例 (9g): 自然; 例 (9h): やや不自然; 例 (10g): やや不自然; 例 (10h): 自然。母語話者 C: 例 (9g): やや不自然; 例 (9h): 自然; 例 (10g): やや不自然; 例 (10h): 自然。本稿では、例 (9)、例 (10) に対して、3名の母語話者のうち、2名が同様な結果を示せば、その結果を現段階での容認度として認める。

- e. *Tôi không muốn mua cái chuồng chó, tôi muốn mua cái __ mèo.
私 否定 ~たい 買う CL ケージ 犬 私 ~たい 買う CL 猫
- f. *Tôi không muốn mua cái chuồng con chó, tôi muốn mua cái __ con mèo.
私 否定 ~たい 買う CL ケージ CL 犬 私 ~たい 買う CL CL 猫
- g. ?Tôi không muốn mua cái chuồng của chó, tôi muốn mua cái __ của mèo.
私 否定 ~たい 買う CL ケージ の 犬 私 ~たい 買う CL の 猫
- h. Tôi không muốn mua cái chuồng của con chó, tôi muốn mua cái __ của con mèo.
私 否定 ~たい 買う CL ケージ の CL 犬 私 ~たい 買う CL の CL 猫

等位構造省略テストでは、「của」を用いない例 (9)、例 (10) の a、b、e、f は「先生のが好き」と「猫のを買いたい」ではなく、「先生が好き」と「猫を買いたい」という意味になるため、考察対象外とする。調査の結果から分かるように、例 (9)、例 (10) において c、d、g、h の中で、h の容認度はより自然であり、g の容認度は h に次いで、やや不自然であるのに対して、c と d はより不自然と判断されている。c と d が不自然になるのは、所有対象のスロットにある名詞に類別詞が付いていないためである可能性がある。したがって、c と d に対して、今回のテストによっては複合構造が複合語なのか句なのかを判断できない。一方、所有者のスロットにある名詞に類別詞が付いている h は、等位構造省略テストによって自然と判断されたため、全体として複合構造はより句的であるということが言える。この結果は分離可能性テストの結果と一致することが示されている。また、所有者スロットにある名詞に類別詞が付いていない g の容認度に対して、他の不自然な場合と比べてやや高まるため、これに基づいて所有者スロットにある名詞に類別詞が付いていなくても複合構造がより句的であると主張できる可能性はあるが、その可能性は、例 (7)、例 (8) にて見たように、分離可能性テストによって支持されていない。また、Simpson et al. (2011: 178) によると、ベトナム語では、名詞が定である文脈で類別詞の使用が任意的になる傾向がある。したがって、例 (9g)、例 (10g) では、所有者のスロットにある名詞の類別詞が上記の理由で省略された可能性が高く、その容認度の判断は類別詞が省略されていない例 (9h) と例 (10h) のそれを反映していると考えられる。

以上の調査とテストの結果から分かることは、ベトナム語では所有者のスロットにある名詞に類別詞が付くと、所有対象と所有者からなる複合構造はより句的になるということである。したがって、所有対象の名詞と所有者の名詞はより複合語的な並置による所有表現を許さず、所有標識「của」の介在が必要とする。次の 3 節と 4 節では、この結果に対して形式的な観点と意味的な観点から説明を試みる。

3. Mithun (1984) 複合語化のメカニズム

2 節の調査結果は、Mithun (1984) の複合語化のメカニズムによって説明ができると考えられる。Mithun (1984: 849-850) によると、名詞抱合では、抱合されている従属部名詞は非指示的、非個別的、非特定のなものであり、意味的、統語的な卓立性が失われている。この場合、従属部名詞は主要部名詞の属するタイプを指している。例えば、「berry-picking」とは、特定のベリーを採るということではなく、いちご狩りというアクティビティのみを指しており、「berry」は「picking」というアクティビティのタイプを指しているという。また、このような複合語は、従属部と主要部の間に他の要素が入ることはなく、たとえ言語によって二つのスロットで分けて書かれる場合があっても、統語的には一つのまとまりとして機能しているとされている。Mithun (1984) の複合語化のメカニズムに従うと、ベトナム語において、「của」を用いない複合構造は「của」を用いる複合構造より複合語的であると考えられる。これは、次のように説明される。上述のように、「của」を用いる複合構造は所有者のスロットにある名詞に類別詞を伴う傾向があるが、類別詞には名詞の指示物を個別化する機能がある (Lobél 2000、Aikhenvald 2000: 325、Simpson et al. 2011: 186、Bisang & Kim 2020、三上 2005) ため、類別詞を伴う所有者の名詞は類別詞を伴わない名詞より指示性が高いということが言える。指示的な名詞はより特定されやすく、個別性や卓立性も高いため、この場合の複合構造は複合語的とは考えにくい。そのために、「của」を用いる複合構造は複合語的ではなく、より句的であるということが言える。一

方、「của」を用いない複合構造は所有者のスロットにある名詞に類別詞を伴わない傾向がある。類別詞を伴わない名詞は類別詞を伴う名詞より指示性が低いため、より所有対象のスロットにある名詞と複合されやすいと考えられる。したがって、「của」を用いない複合構造は句的ではなく、より複合語的であるということが言える。

4. Chappell and McGregor (1989) の所有の通言語的普遍性

Chappell and McGregor (1989) では通言語的に、所有表現を譲渡不可能な所有、譲渡可能な所有、および類別 (classification) に分類し、形態的、統語的に有標な「属格構文」で実現される所有は譲渡可能な所有であると指摘している。この場合、所有者が明示的な標示によって所有対象から分離される。この分離は二つの名詞の指示対象の間の非内在的な関係を類像的に反映しているという (e.g. the girl's computer)。類別とは従属部名詞が主要部名詞の指示する名詞の属するタイプを示すような関係で、ほぼ全ての言語が並置によって表し (e.g. blackbird)、一般に、類別名詞と主要部名詞の間にさらなる修飾語が入ることはないと言われている。ベトナム語では「của」を用いる所有表現は、譲渡可能な所有を表しうるという意味的観点、標識を用いるという統語的観点から Chappell and McGregor (1989) のいう属格構文に相当すると考えられる⁵。また、「của」を用いない表現は同様の観点から Chappell and McGregor (1989) の類別構文に相当すると考えられる。つまり、ベトナム語では、「của」を用いる表現は二つの名詞の指示対象の間の所有関係を類像的に反映していると言える。例えば、「chiếc xe của người học sinh」(学生の車) では、「chiếc xe」と「người học sinh」は内在的な関係を持たず、「của」の介在によって、その非内在的な所有関係が類像的に反映されている。一方、「của」を用いない表現は「xe học sinh」(学生用の車) のように、従属部名詞「学生」は主要部名詞「車」の属するタイプを指定し、類別名詞として機能すると考えられる。このように、ベトナム語の所有表現は、Chappell and McGregor (1989) の所有の通言語的な普遍性に対する更なる実証的証拠となる可能性がある。

5. おわりに

本稿では、ベトナム語の所有表現において、所有標識「của」の出現は所有対象に依存するという先行研究の問題点を指摘した上で、12名のベトナム語母語話者を対象としてアンケート調査を行い、所有者に類別詞が付く場合に「của」の介在が必要であるという事実を明らかにした。これによって、「của」の使用は所有対象のみならず、所有者にも関わるという結論が導かれる。また、本稿では、この現象を説明するために、語彙的緊密性のテストを行った。このテストの結果、所有者に類別詞を伴う複合構造はより句的である可能性が高く、一方、所有者に類別詞を伴わない複合構造はより複合語的である可能性が高いという点が明らかになった。この結果を踏まえ、Mithun (1984) の複合語化のメカニズムという形式的な観点と Chappell and McGregor (1989) の通言語的な所有関係の普遍性という意味的な観点から「của」の出現条件の説明を試みた。その主張を表1にまとめる。類別詞を伴う所有者は指示性が高いため、所有対象と複合されにくく、明示的な標示を伴って所有対象との所有関係を反映する必要がある。一方、類別詞を伴わない所有者のスロットにある名詞は指示性が低く、指示物が特定されていないため、所有対象と複合されやすく、所有対象のスロットにある名詞の属するタイプを指定すると考えられる。ただ、譲渡不可能の所有表現や、所有者が代名詞の場合などについては、今後更なる考察を進める必要がある。

⁵ ベトナム語の譲渡不可能な所有は、形式的には譲渡可能な所有と区別されないが、譲渡可能な所有と同様に扱えるかどうかは更に調査する必要がある。

表1 指示性による階層

従属部名詞の指示性	特徴	Mithun (1984) 複合語化のメカニズム	Chappell and McGregor (1989) 普遍的な所有の意味関係	本稿の主張：ベトナム語の所有表現の位置付け
指示的 ↑	分離可能; 意味的距離が大きい	句 e.g. pick berries; grind coconuts	譲渡可能 e.g. the girl's computer	特定の所有者の所有表現 CL+NP ₁ + của+CL+NP ₂ e.g. chiếc xe của người học sinh (ある学生の車)
			譲渡不可能	
非指示的	分離不可能; 従属部は主要部のタイプを指す; 意味的距離が小さい	複合語 e.g. berry-picking; coconut-grinding	類別 e.g. blackbird	総称 NP ₁ +NP ₂ e.g. xe học sinh (学生用の車)

参考文献

Aikhenvald, Alexandra Y. (2000) *Classifier: A typology of noun categorization devices*. New York: Oxford University Press.

Bisang, Walter and Kim Ngoc Quang (2020) Definiteness and Vietnamese classifiers, In: Kata Balogh, Anja Latrouite and Robert D. Van Valin, Jr. (eds.) *Nominal anchoring: Specificity, definiteness and article systems across languages*, 15-49. Berlin: Language Science Press.

Bresnan, Joan and Sam A. McHombo (1995) The lexical integrity principle: Evidence from Bantu. *Natural Language & Linguistic Theory* 13(2): 181-254.

Chappell, Hilary and William McGregor (1989) Alienability, inalienability and nominal classification. *Berkeley Linguistics Society* 15: 24-36.

Dixon, R. M. W. (2010) *Basic linguistic theory: volume 2 Grammatical topics*. Oxford: Oxford University Press.

Haspelmath, Martin and Andrea D. Sims (2010) *Understanding Morphology*. London: Hodder Education.

Lobël, Elisabeth (2000) Classifiers versus genders and noun classes: A case study in Vietnamese. In: Werner Winter (ed.) *Gender in grammar and cognition*, 259-319. Berlin/New York: Mouton de Gruyter.

Mithun, Marianne (1984) The evolution of the noun incorporation. *Language* 60(4): 847-894.

Simpson, Andrew, Hooi Ling Soh, and Hiroki Nomoto (2011) Bare classifiers and definiteness: A cross-linguistic investigation. *Studies in Language* 35(1): 168-193.

春日淳 (2011) 「ベトナム語における所有標識構文について」『慶應義塾大学言語文化研究所』42: 227-243.

三上直光 (2005) 「ベトナム語類別詞再考」『慶應義塾大学言語文化研究所』37: 183-200.

Bùi, Đức Tịnh (1952) *Văn phạm Việt Nam* [ベトナム語文法] Saigon: Nhà xuất bản P. Văn-Tươi.

Hoàng, Dũng & Nguyễn Thị Ly Kha (2004) Về các thành tố phụ sau trung tâm trong danh ngữ tiếng Việt [ベトナム語の名詞句において核に後置される要素について], *Tạp Chí Ngôn ngữ* [言語] số 4, 25-34.